

神戸昇天教会月報

〒652-0015 神戸市兵庫区下祇園町39番7号 神戸昇天教会

牧師 小南 晃 電話 (078) 361-4490

FAX (078) 361-4539

http://nssk-kobeshoten.org/ 振替口座 01110-2-10517

今年の標語

「来てみませんか？」と誘える教会を目指そう。

努力目標

- ◎主日礼拝を大切に守ろう。
- ◎信徒一人ひとり教会活動に参画しよう。
- ◎地域との交流促進。

聖語 あなたは心を尽くし、魂を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。

(申6:5)

逝去者記念月

～墓はわれらをつなぐ力なし～

「なぜ、生きておられる方を死者の中に捜すのか。あの方は、ここにはおられない。復活なさったのだ」(ルカによる福音書24:5-6)

司祭 ミカエル 小南 晃

11月1日の諸聖徒日に始まる今月は教会における逝去者記念の月です。当教会では11月第1日曜日に秋季歴代関係逝去者記念礼拝を行い、その後、鶴越墓苑の当教会の納骨堂に墓参りに参ります。

千の風になって

「千の風になって」という、多くの人々の心を打つ歌があります。その歌詞に「私のお墓の前で泣かないでください。そこに私はいません。眠ってなんかいません」という一節があります。そしてその後「千の風になって、あの大きな空を吹きわたっています」、「秋には光になって、畑に降り注ぐ」、「冬にはダイヤのようにきらめく雪になる」と、とても美しい歌詞が続きます。それは死んでしまっただけが消えてしまうわけではないという慰めのメッセージです。しかしなおも「そうであったら」という淡い憧れのようなところがあるのではないのでしょうか。

復活の確かな宣言

この「そこに私はいません。眠

ってなんかいません」という歌詞と似た響きを感じる福音書のみ言葉があります。それが冒頭の「なぜ、生きておられる方を死者の中に捜すのか。あの方は、ここにはおられない。復活なさったのだ(ルカ24:1-6)」

これは主イエス・キリストが十字架につけられて殺されてから三日後、イエスを敬愛していた婦人たちがイエスが葬られた墓に行きました。しかしその墓にイエスのご遺体が見当たらない。途方にくれ、悲しむ婦人たちにみ使いが現れて告げた言葉です。

最も大切なメッセージ

キリスト教のメッセージで一番大切な内容とは、主イエス・キリストが十字架につけられて死んだこと、そのキリストが三日目に復活されたことです。そしてそのことによって私たちの罪が全く赦され、そして私たちにも天国と永遠の命が約束されているということです。

冒頭のみ言葉は「あの方は、ここ(即ちお墓)にはおられない。」と告げた後、はっきりと「復活なさったのだ」と宣言しています。

キリスト教の復活信仰は、永遠の命への淡い憧れではなく、神様は確かに私たちに永遠の命、そして天国を約束されたことを信じるるところから始まるものです。

そしてキリスト教の逝去者記念礼拝において、改めて覚えようとしていることはこの復活信仰なのです。そしてさらにこの世にいる私達と天に召された方々とは神様のみ前において常に交わりが保たれているという信仰なのです。

お墓参りの時にこそ

最初に11月はお墓参りの時だと申しました。そう言いながら「そこに私はいません」という歌詞や「ここにはおられない」というみ言葉を引用し、また「墓はわれらをつなぐ力なし(聖歌181番)」と言うのは、何か水を差しているように思われるかも知れません。

しかし逝去者記念またお墓参りは大切です。それはそのことを通して召された方々が今は永遠の命を与えられ、天国にいて私たち見守っていてくださることを改めて覚えるためだからです。

この逝去者記念の時にあたり、当神戸昇天教会の歴代関係逝去者の方々、また皆様の敬愛している天に召された方々が主のもとで安らかな憩いが与えられることを祈ると共に、私たちの復活信仰を強めて下さり、先達に倣って信仰の道を日々歩んで行くことが出来ますように祈り求めたいと思います。

定例集会

日	午前7時	早朝聖餐式
	" 9時15分	教会学校
	" 10時30分	聖餐式・説教
	午後6時	夕の礼拝

火	午前10時30分	聖書研究会
土	午前10時30分	教会掃除

(ご奉仕をお願いします)